

# 社会福祉学科 社会福祉専攻 教育課程

## 社会福祉学科社会福祉専攻の教育

### 教育目的

福祉の専門的知識および技術、学芸を生かし、人や地域社会とあたたかい関わりをもち、人権を擁護することのできる人間性豊かなソーシャルワーカー（社会福祉士）や地域社会に貢献できる福祉人材の育成を図ることを目的とする。

### 学習教育目標

- A 知識・理解力  
知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。
- B 専門的技術  
社会貢献・自己実現に技術が活用できる。
- C 論理的思考力  
情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。
- D 問題解決力  
問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
- E 自己管理能力  
自らを律して行動できる。
- F チームワーク・リーダーシップ  
他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
- G 倫理観  
自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
- H コミュニケーション力  
言語や身体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。

### 学科・専攻学習教育目標

- A ①社会福祉学の基礎的な理解  
社会福祉に関する基礎的な知識、技術について理解している。
- ②ソーシャルワークや隣接領域等の理解  
ソーシャルワークの理解や心理、アート、健康、スポーツ等の知識を身につけている。
- B ①面接技術やカウンセリング等の能力  
対人援助に必要な知識・技術について理解している。
- ②生活ニーズをアセスメントできる力  
利用者の立場にたって物事を判断し、理解していく力を身につけている。
- ③総合的な支援を計画的に実践できる力  
論理的な根拠をもって援助を計画的に実践していく力を身につけている。
- C ①行動を科学的に理解する力  
人間の行動や心理について科学的、客観的に理解できる。
- D 問題解決力  
問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
- E G ①自己覚知の実践  
価値感や倫理観と向き合いながら自らを律し、利用者を理解していくことができる。
- F チームワーク・リーダーシップ  
他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
- H ①言語、非言語によるコミュニケーション技術  
利用者に合った方法でコミュニケーションを実践できる力を身につけている。
- ②プレゼンテーションを行う力  
情報を的確に伝える力や解りやすく説明できる能力を身につけている。
- ③記録や記述を行う力  
感じたことや考察したことなどを記録したり、記述することができる。

### 自己形成を進める行動目標10項目（社会福祉学科社会福祉専攻福短マトリックス）

- ① 「私」の経験をもとに考える
- ② 状況や関係を把握して考える
- ③ もう一人の「私」を立ち上げ考える
- ④ 「私」宣言をつくる
- ⑤ 自己・他者を理解しコミュニケーションする
- ⑥ 福祉に関わり知識・技術を習得する
- ⑦ 他者に向けて発信する
- ⑧ 「ひと・こと・もの」に働きかける「私」になる
- ⑨ 福祉に関わる専門性を発揮する
- ⑩ 福祉社会に生きる「私」になる

※「学習教育目標（A～H）」と「自己形成を進める行動目標（1～10）」を組み合わせることで各授業科目の到達目標を設定する。

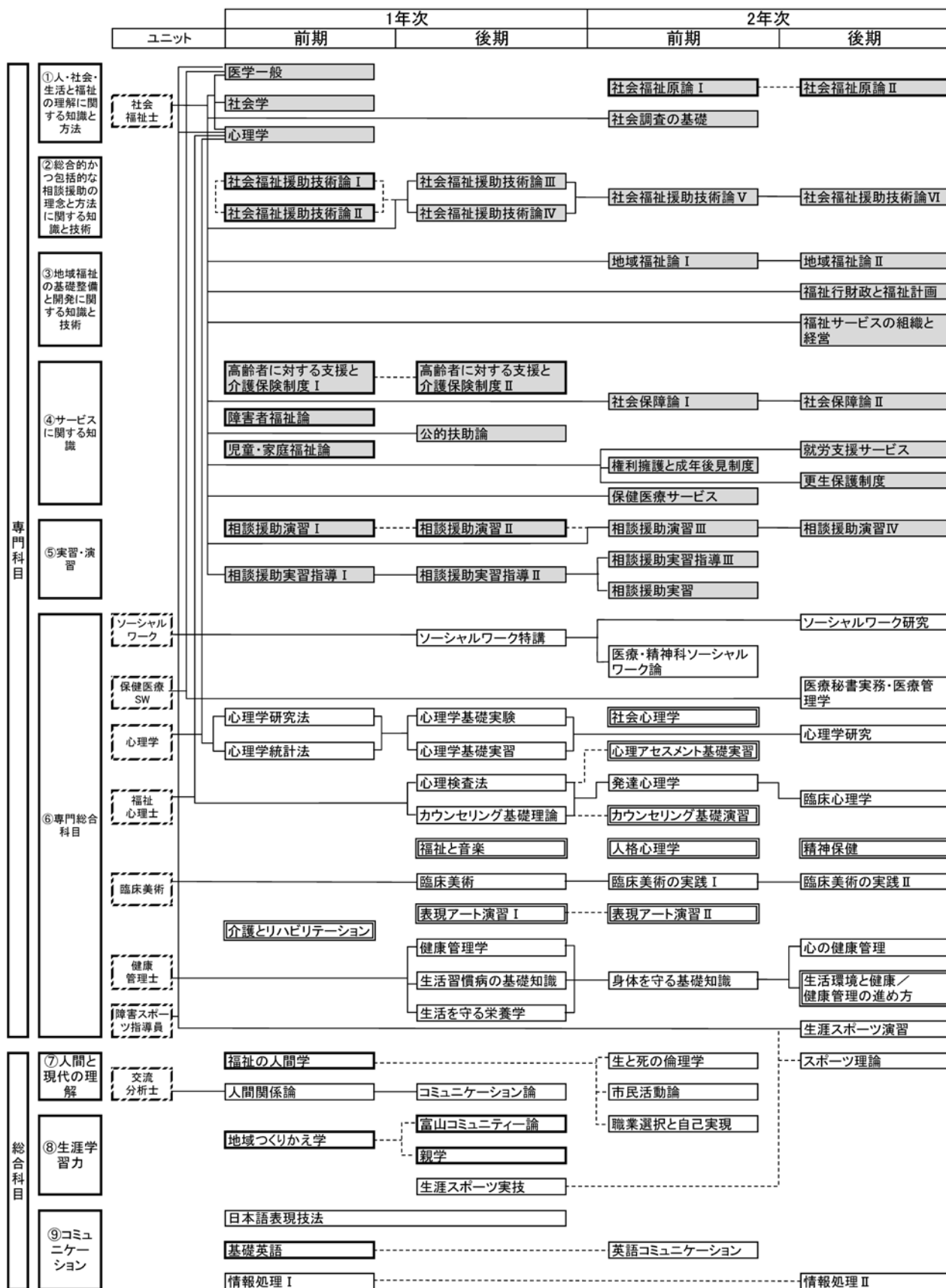
履修科目一覧

■社会福祉学科 社会福祉専攻 (2019年度 入学生)

区分	2年次												卒業要件必要単位				
	前期						後期										
	科目区分	コード	開講科目名	必修・選択	単位数	履修形態	科目区分	コード	開講科目名	必修・選択	単位数	履修形態					
配当年次開講時期	① 人・社会生活と福祉に関する知識と実践	210210	医学一般	選	2	講義	210421	社会福祉原論Ⅰ	必	2	講義	210422	社会福祉原論Ⅱ	必	2	講義	
		210208	社会学	選	2	講義	210438	社会学の基礎	選	2	講義						
		210207	心理学	選	2	講義											
		210105	社会福祉援助技術論Ⅰ	必	2	講義	210444	社会福祉援助技術論Ⅴ	選	2	講義	210445	社会福祉援助技術論Ⅵ	選	2	講義	
	② 総合的かつ包括的な福祉援助の理念と実践に関する知識	210106	社会福祉援助技術論Ⅱ	必	2	講義	210433	社会福祉援助技術論Ⅳ	選	2	講義						
	③ 地域福祉の基礎を講義と実践とで知る	210416	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	必	2	講義	210417	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	必	2	講義	210423	地域福祉論Ⅰ	選	2	講義	
		210450	障害者福祉論	必	2	講義	210202	公的扶助論	選	2	講義	210442	福祉行政と福祉計画	選	2	講義	
		210418	児童・家庭福祉論	必	2	講義						210443	福祉サービスの組織と経営	選	2	講義	
		210419	相談援助実習指導Ⅰ	必	1	演習	210420	相談援助実習指導Ⅱ	必	2	演習	210426	社会保険論Ⅱ	選	2	講義	
④ サービスに関する知識	210431	相談援助実習指導Ⅱ	必	1	演習	210432	相談援助実習指導Ⅲ	選	2	演習	210428	社会保険論Ⅲ	選	2	講義		
										210429	就業支援サービス	選	2	講義			
										210441	就労支援サービス	選	2	講義			
										210443	更生保護制度	選	2	講義			
⑤ 実習	210510	介護とリハビリテーション	選	1	演習	210452	ソーシャルワーク特講	選	2	講義	210437	相談援助実習Ⅳ	選	2	演習		
						210434	福祉と音楽	選	2	講義							
						210457	健康心理学	選	2	講義	210456	ソーシャルワーク研究	選	2	演習		
						210458	生活習慣病の基礎知識	選	2	講義	210459	心の健康心理学	選	2	講義		
⑥ 専門総合科目	210470	心理学研究法	選	2	講義	210472	心理学基礎実験	選	2	演習	210462	身体を守る健康知識	選	2	講義		
	210471	心理学統計法	選	2	講義	210473	心理学基礎実習	選	2	演習	210509	医療秘書実務・医療管理心理学	選	2	演習		
						210474	カウンセリング基礎理論	選	2	講義	210465	生産スポーツ演習	選	2	演習		
						210476	心理検査法	選	2	講義	210498	臨床美術の実践Ⅱ	選	2	演習		
⑦ 専門科目計	210303	福祉の人間学	必	2	講義	210469	臨床美術	選	2	演習	210489	臨床美術の実践Ⅰ	選	2	演習		
	210225	人間関係論	選	2	講義	210499	表現アート演習Ⅰ	選	1	演習	210500	表現アート演習Ⅱ	選	1	演習		
	210507	地域づくりかえ学	必	1	講義	210504	関学	必	1	講義	210475	カウンセリング基礎演習	選	1	演習		
						210508	臨床コミュニケーション論	選	1	演習	210477	カウンセリング基礎実習	選	1	演習		
⑧ 総合科目計	210485	日本語表現技法	選	1	演習	210485	日本語表現技法	選	1	演習	210478	発達心理学	選	2	講義		
	210495	基礎英語	必	1	演習	210486	コミュニケーション論	選	1	演習	210479	人権心理学	選	2	講義		
	210405	情報処理Ⅰ	選	1	演習					210480	社会心理学	選	2	講義			
										210489	生と死の倫理学	選	2	講義			
総合科目計	210485	日本語表現技法	選	1	演習	210485	日本語表現技法	選	1	演習	210489	生と死の倫理学	選	2	講義		
	210495	基礎英語	必	1	演習	210504	関学	必	1	講義	210490	市民活動論	選	1	講義		
	210405	情報処理Ⅰ	選	1	演習	210508	臨床コミュニケーション論	選	1	演習	210494	職業選択と自己実現	選	1	演習		
						210491	生産スポーツ実技	選	1	演習	210488	英語コミュニケーション	選	1	演習		
合計																50	
合計																62	

(注意)  
 ①社会福祉士受験資格指定科目について:◎印の科目は必修、○印の科目は選択必修、△印の3科目のうち1科目は選択必修。  
 ②ユニット科目は次のように指示、「社会福祉士」=社、「ソーシャルワーク」=ソ、「保健医療SW」=医、「福祉心理学」=福、「健康心理学」=美、「健康心理学」=健、「障害者スポーツ指導員」=ス、「交流分析士」=交  
 ③学生は4年を越えて在学することはできない。ただし、休学の期間是在学年数に算入しない。(学期:第3条(修業年限及び在学年限)、第16条(休学の時期))

2019年度入学生 履修系統図 社会福祉学科社会福祉専攻



※上記の科目以外に、所定の手続きを経て、大学コンソーシアム富山等で開講する単位互換科目等を履修することができます。

実線で結ばれた科目は同一ユニット、点線で結ばれた科目は内容的関連性の強い科目を示しています。

卒業必修、アドバンスを示しています。

は、社会福祉士養成課程指定科目を示しています。

# 社会福祉学科 介護福祉専攻 教育課程

## 社会福祉学科介護福祉専攻の教育

### 教育目的

その人らしい生活を支えるために必要な、専門的知識、心身の状況に応じた生活支援技術を身につけ、それらを必要とする人の尊厳と自立支援の意義を理解し、よりよい援助関係を築くための豊かな感性を伸長できる介護福祉士の育成を図ることを目的とする。

### 学習教育目標

- A 知識・理解力  
知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。
- B 専門的技術  
社会貢献・自己実現に技術が活用できる。
- C 論理的思考力  
情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。
- D 問題解決力  
問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
- E 自己管理能力  
自らを律して行動できる。
- F チームワーク・リーダーシップ  
他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
- G 倫理観  
自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
- H コミュニケーション力  
言語や身体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。

### 学科・専攻学習教育目標

- A ①基礎的な介護の知識  
あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識を習得する。
- ②社会保障の制度、施策の知識・理解  
介護に関する社会保障の制度、施策についての基本的知識を習得し理解する。
- ③介護の意義の理解  
介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義について理解できる。
- B ①介護の基礎技術  
あらゆる介護場面に共通する基礎的な技術を習得する。
- ②介護実践の根拠  
介護実践の根拠が理解できる。
- ③介護の総合的、計画的実践力  
利用者本位・自立支援に資するサービスを総合的、計画的に提供できる能力を身に付ける。
- C 論理的思考力  
情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。
- D 問題解決力  
問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
- E 自己管理能力  
自らを律して行動できる。
- F ①役割の自覚と参画  
他の職種の役割を理解しチームに参画する能力を身に付ける。
- G ①人権擁護の実践力  
尊厳を支えるケア、人権擁護の視点に立った倫理を身につける。
- H ①コミュニケーションの基本  
コミュニケーションのとり方の基本を身につける。
- ②共感の姿勢  
他者に共感でき、相手の立場に立って考える事ができる姿勢を身につける。
- ③的確な記録・記述  
的確な記録・記述の方法を身につける

### 自己形成を進める行動目標10項目（社会福祉学科介護福祉専攻福祉短マトリックス）

- ①「私」の経験をもとに考える
- ② 状況や関係を把握して考える
- ③ もう一人の「私」を立ち上げ考える
- ④ 「私」宣言をつくる
- ⑤ 自己・他者を理解しコミュニケーションする
- ⑥ 介護に関わり知識・技術を習得する
- ⑦ 他者に向けて発信する
- ⑧ 「ひと・こと・もの」に働きかける「私」になる
- ⑨ 介護に関わる専門性を発揮する
- ⑩ 福祉社会に生きる「私」になる

※「学習教育目標（A～H）」と「自己形成を進める行動目標（1～10）」を組み合わせることで各授業科目の到達目標を設定する。

履修科目一覧

■社会福祉学科 介護福祉専攻 (2019年度 入学生)

区分	1年次										2年次										卒業要件 必要単位数	
	前期					後期					前期					後期						
科目区分	コード	開講科目名	必修・選択	単位数	授業形態	コード	開講科目名	必修・選択	単位数	授業形態	コード	開講科目名	必修・選択	単位数	授業形態	コード	開講科目名	必修・選択	単位数	授業形態		
配当年次 開講時期	① 人と 社会	220417	人間の理解Ⅱ	必★	1	演習	220416	人間の理解Ⅰ	必★	2	講義	220460	福祉と音楽	選△	1	演習	220302	人権論	選△	2	講義	
		220418	社会と制度の理解Ⅰ	必★	2	講義	220419	社会と制度の理解Ⅱ	必★	2	講義	220453	社会調査の基礎	選△	2	講義	220486	地域福祉論	必△	2	講義	
	② 介護	220420	介護の基本Ⅰ(◎)	必★	4	講義	220421	介護の基本Ⅱ(◎)	必★	4	講義	220438	介護の基本Ⅲ	必★	2	講義	220439	介護の基本Ⅳ	必★	2	講義	
		220489	コミュニケーション技術Ⅰ(手話含む)	必★	1	演習	220489	コミュニケーション技術Ⅱ(点字含む)	選★	1	演習	220443	生活支援技術Ⅲ(◎)	選★	2	演習	220497	生活支援技術Ⅳ	選★	1	演習	
		220475	生活支援技術Ⅰ-①(◎)	必★	2	演習	220476	生活支援技術Ⅰ-②	必★	2	演習	220443	介護過程Ⅲ(◎)	選★	2	演習	220443	介護過程Ⅲ(◎)	選★	2	演習	
		220477	生活支援技術Ⅱ-①(◎)	必★	2	演習	220478	生活支援技術Ⅱ-②(◎)	必★	2	演習	220494	介護総合演習Ⅲ	選★	1	演習	220494	介護総合演習Ⅲ	選★	1	演習	
	③ とら ちか くのみ	220427	介護過程Ⅰ	必★	1	演習	220428	介護過程Ⅱ(◎)	必★	1	演習	220492	介護総合演習Ⅱ	選★	2	講義	220432	認知症Ⅱ	選★	2	講義	
		220445	介護総合演習Ⅰ	選★	1	演習	220493	介護総合演習Ⅱ	選★	1	演習	220432	認知症Ⅱ	選★	2	講義	220432	認知症Ⅱ	選★	2	講義	
		220429	発達と老化の理解Ⅰ	必★	2	講義	220430	発達と老化の理解Ⅱ	必★	2	講義	220463	障害の理解Ⅱ	選★	2	講義	220463	障害の理解Ⅱ	選★	2	講義	
		220433	障害の理解Ⅰ	必★	2	講義	220431	認知症Ⅰ	必★	2	講義	220435	こころからのだらけみⅠ	選★	2	講義	220435	こころからのだらけみⅠ	選★	2	講義	
④ 実習	220447	介護実習Ⅰ-①	選★	2	実習	220480	介護実習Ⅱ-①	選★	4	実習	220465	介護実習Ⅰ-②	選★	1	実習	220481	介護実習Ⅱ-②	選★	3	実習		
	220437	こころからのだらけみⅢ	必★	2	講義	220464	こころからのだらけみⅣ	必★	2	講義	220492	経営栄養	選★	1	演習	220482	介護福祉研究(◎)	必	2	演習		
⑤ 研究	220437	こころからのだらけみⅢ	必★	2	講義	220464	こころからのだらけみⅣ	必★	2	講義	220492	経営栄養	選★	1	演習	220482	介護福祉研究(◎)	必	2	演習		
	220437	こころからのだらけみⅢ	必★	2	講義	220464	こころからのだらけみⅣ	必★	2	講義	220492	経営栄養	選★	1	演習	220482	介護福祉研究(◎)	必	2	演習		
⑥ 専門科目計	220447	介護実習Ⅰ-①	選★	2	実習	220480	介護実習Ⅱ-①	選★	4	実習	220465	介護実習Ⅰ-②	選★	1	実習	220481	介護実習Ⅱ-②	選★	3	実習		
	220437	こころからのだらけみⅢ	必★	2	講義	220464	こころからのだらけみⅣ	必★	2	講義	220492	経営栄養	選★	1	演習	220482	介護福祉研究(◎)	必	2	演習		
⑦ 生 運 学 習 力	220301	福祉の人間学	必	2	講義	220471	生と死の倫理学	選	2	講義	220457	市民活動論	選	1	演習	220468	職業選択と自己実現	選	1	演習		
	220499	地域づくりかえ学	必	1	講義	220496	親学	必	1	講義	220468	職業選択と自己実現	選	1	演習	220501	臨床美術の実践Ⅰ	選	2	演習		
⑧ コ ミュ ニ ケー ション	220472	生理スポーツ実技	選	1	実技	220500	富山コミュニケーション論	必	1	演習	220469	日本語表現技法	選	1	演習	220501	臨床美術の実践Ⅱ	選	1	演習		
	220469	日本語表現技法	選	1	演習	220473	臨床美術	選	2	演習	220469	日本語表現技法	選	1	演習	220501	臨床美術の実践Ⅱ	選	1	演習		
総合科目計	220485	基礎英語	選択必修	1	演習	220473	臨床美術	選	2	演習	220469	日本語表現技法	選	1	演習	220501	臨床美術の実践Ⅱ	選	1	演習		
	220503	基礎日本語	選択必修	1	演習	220473	臨床美術	選	2	演習	220469	日本語表現技法	選	1	演習	220501	臨床美術の実践Ⅱ	選	1	演習		
⑨ 総 合 科 目 計	220474	情報処理	選	1	演習	220474	情報処理	選	1	演習	220474	情報処理	選	1	演習	220474	情報処理	選	1	演習		
合計																					8	
合計																						62

(注意) ①介護福祉士国家試験受験資格取得のためには、★印すべての科目と△印7単位以上の取得が必要である。

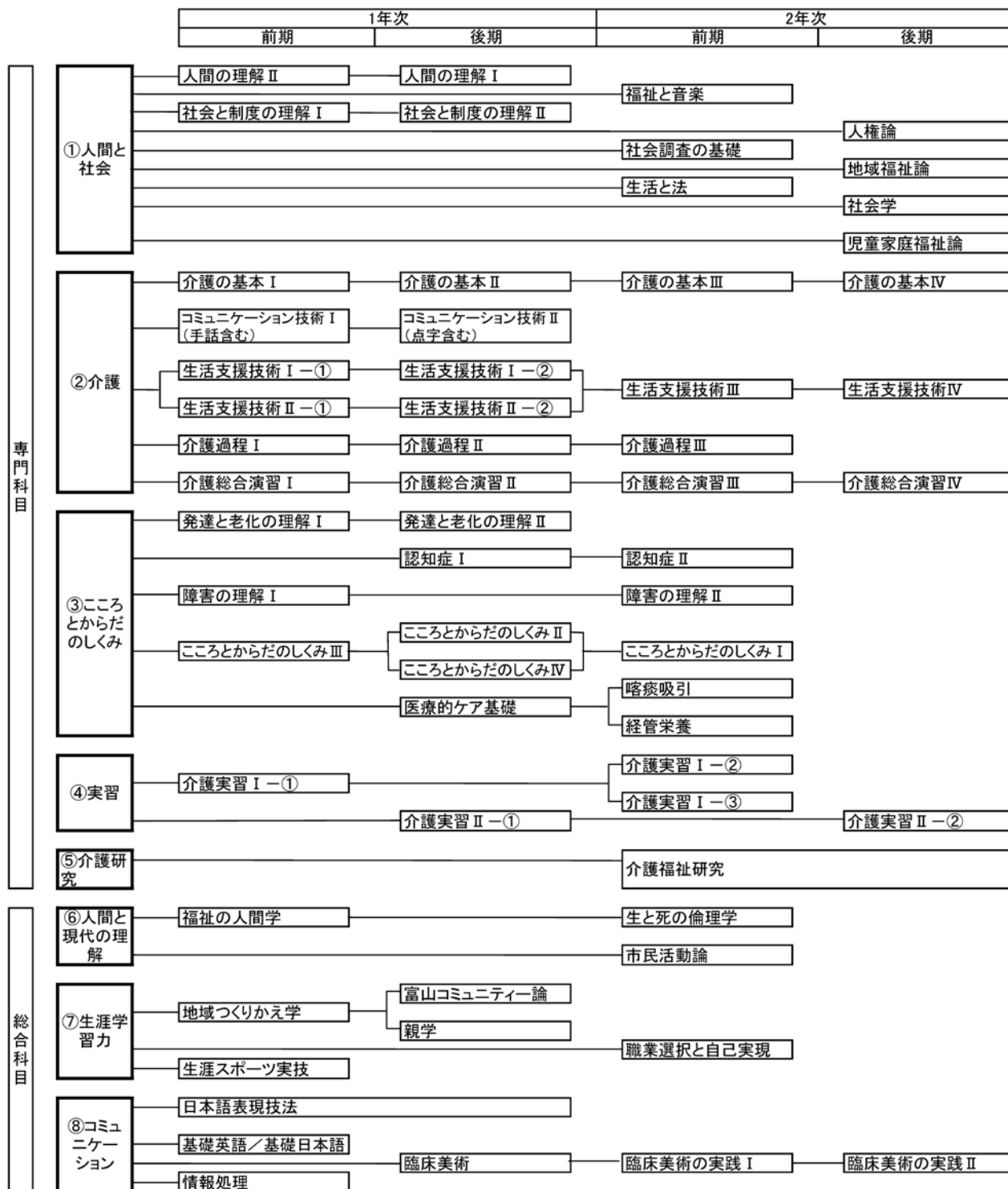
②科目名(◎)印は、半期に30コマ(週2コマ)開講されます。

③卒業には、必修全科目(55単位)を含め、選択必修(基礎英語)もしくは「基礎日本語」より1単位、選択科目より6単位の単位認定が必要です。

④学生は4年を超えて在学することはできない。ただし、休学の期間は在学年数に算入しない。〔学期:第3条(修業年限及び在学年限)、第16条(休学の時期)〕



2019年度入学生 履修系統図 社会福祉学科介護福祉専攻



※上記の科目以外に、所定の手続きを経て、大学コンソーシアム富山等で開講する単位互換科目等を履修することができます。

# 看護学科 教育課程

## 看護学科の教育

### 教育目的

看護師として正確な専門知識と安全な技術を身につけ、本人と家族を含めた看護の対象やその対象を支える保健・医療・福祉従事者および地域の人々への理解を深め、信頼関係を形成し、安心感を与えることのできる態度と幅広い教養を身につけ、常に自己を向上させる意欲を備えた看護実践者の育成を図ることを目的とする。

### 学習教育目標

- A 知識・理解力  
知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。
- B 専門的技術  
社会貢献・自己実現に技術が活用できる。
- C 論理的思考力  
情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。
- D 問題解決力  
問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
- E 自己管理能力  
自らを律して行動できる。
- F チームワーク・リーダーシップ  
他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
- G 倫理観  
自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
- H コミュニケーション力  
言語や身体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。

### 学科・専攻学習教育目標

- A ①看護の本質・目的の理解  
看護に活用される理論の基礎的知識を身につけ、未来で活躍する看護職としてのビジョンを持つ。
- ②看護の対象の理解  
看護の対象であるあらゆる人々と家族の健康と生活についての理解を深める。
- ③看護の対象を支える保健・医療・福祉従事者および地域の人々への理解  
対象を支える保健・医療・福祉従事者および地域の人々への理解を深める。
- ④看護の内容・方法の理解  
看護実践に必要な内容・方法に関する知識・理解を深める。
- B 看護に必要な基本技術の習得  
あらゆる場において看護を実践するための応用可能な基本的技術を習得する。
- C 看護実践のための論理的思考  
さまざまな知識・技術を統合し活用するために論理的に考える姿勢を持つ。
- D 看護実践における問題解決  
知識を活用し、看護過程の展開ができる。
- E 学習継続のための自己管理  
学習継続のために心身の健康と行動を自らまたは適切な支援を得て管理できる。
- F チームワーク・リーダーシップ  
学習目標達成のために、自己の役割を理解し、グループでの学習、実習を遂行できる。
- G 看護師としての倫理観  
看護の対象である人々を護り、その人々の代弁者となる意識を持つ。
- H コミュニケーション力  
交流分析等を活用し、コミュニケーションを円滑にすることができる。

### 自己形成を進める行動目標10項目（看護学科福短マトリックス）

- ①「私」の経験をもとに考える
- ② 状況や関係を把握して考える
- ③ もう一人の「私」を立ち上げ考える
- ④ 「私」宣言をつくる
- ⑤ 自己・他者を理解しコミュニケーションする
- ⑥ 看護に関わり知識・技術を習得する
- ⑦ 他者に向けて発信する
- ⑧ 「ひと・こと・もの」に働きかける「私」になる
- ⑨ 看護に関わる専門性を発揮する
- ⑩ 地域社会に看護師として生きる「私」になる

※「学習教育目標（A～H）」と「自己形成を進める行動目標（1～10）」を組み合わせることで各授業科目の到達目標を設定する。

履修科目目一覽

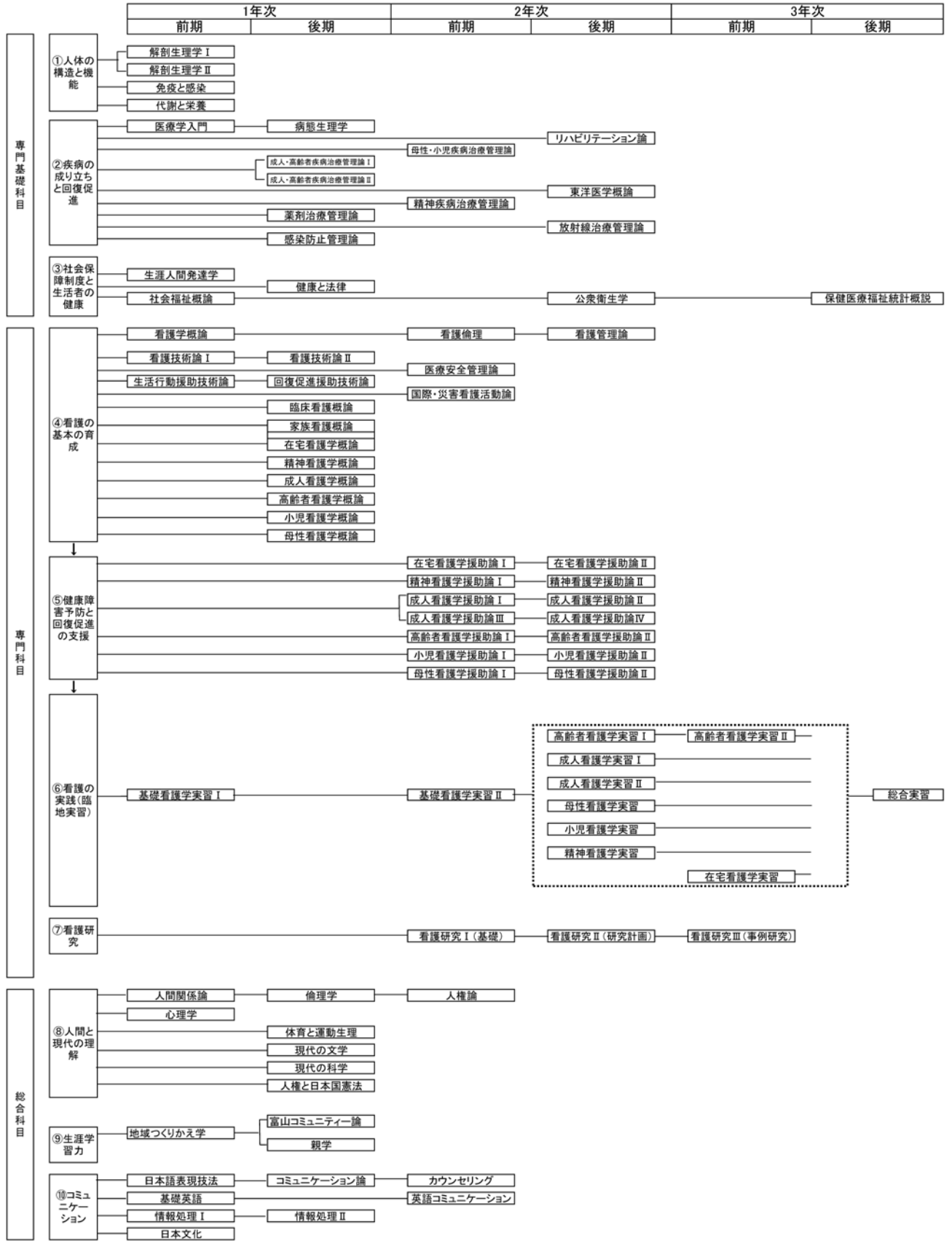
看護学科 (2019年度入学生)

科目区分	1年次			2年次			3年次			卒業要件 単位数
	コード	科目名	単位数	コード	科目名	単位数	コード	科目名	単位数	
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	270201	解剖生理学Ⅰ	2	270209	母性・小児疾病治療管理論	1	270211	放射線治療管理論	1	21単位必修
	270339	解剖生理学Ⅱ	1	270210	精神疾病治療管理論	1	270214	*東洋医学概論	1	
	270203	免疫と感染	1	270212	成人・高齢者疾病治療管理論Ⅱ	1	270375	リハビリテーション論	1	
	270204	代術と栄養	1	270213	感染防止管理論	1	270217	公衆衛生学	1	
	270205	看護学入門	1	270218	健康と法律	1	270343	看護管理論	1	
	270216	生埋人間発達学	1	270342	看護技術Ⅱ	2	270344	看護管理論	1	
	270219	社会福祉概論	1	270345	看護技術Ⅲ	2	270346	国際・災害看護活動論	1	
	270301	看護学概論	2	270347	在宅看護学援助論Ⅰ	1	270348	在宅看護学援助論Ⅱ	1	
	270341	看護技術Ⅰ	1	270349	精神看護学援助論Ⅰ	1	270350	成人看護学援助論Ⅰ	1	
	270304	生活行動援助技術論	2	270351	成人看護学援助論Ⅱ	1	270352	成人看護学援助論Ⅲ	1	
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	270309	在宅看護学概論	1	270353	高齢者看護学援助論Ⅰ	1	270354	高齢者看護学援助論Ⅱ	1	35単位必修
	270310	在宅看護学概論	1	270355	高齢者看護学援助論Ⅲ	1	270356	小児看護学援助論Ⅰ	1	
	270311	精神看護学概論	1	270357	小児看護学援助論Ⅱ	1	270358	母性看護学援助論Ⅰ	1	
	270312	成人看護学概論	1	270359	母性看護学援助論Ⅱ	1	270326	基礎看護学実習Ⅱ	2	
	270313	高齢者看護学概論	1	270360	小児看護学実習Ⅰ	2	270327	成人看護学実習Ⅰ	3	
	270314	小児看護学概論	1	270361	成人看護学実習Ⅱ	2	270328	成人看護学実習Ⅱ	3	
	270315	母性看護学概論	1	270362	高齢者看護学実習Ⅰ	2	270329	成人看護学実習Ⅲ	2	
	270325	基礎看護学実習Ⅰ	1	270363	高齢者看護学実習Ⅱ	2	270330	高齢者看護学実習Ⅱ	2	
	270326	基礎看護学実習Ⅱ	2	270364	小児看護学実習	2	270365	小児看護学実習	2	
	270327	成人看護学実習Ⅰ	3	270366	母性看護学実習	2	270367	母性看護学実習	2	
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	270328	成人看護学実習Ⅱ	3	270368	精神看護学実習	2	270369	在宅看護学実習	2	5単位必修
	270329	成人看護学実習Ⅲ	2	270370	看護研究Ⅰ	1	270371	看護研究Ⅱ	1	
	270330	高齢者看護学実習Ⅰ	2	270372	看護研究Ⅲ(事例研究)	2	270373	看護研究Ⅳ	2	
	270331	高齢者看護学実習Ⅱ	2	270374	看護研究Ⅴ	2	270375	看護研究Ⅵ	2	
	270332	小児看護学実習Ⅰ	2	270376	看護研究Ⅶ	2	270377	看護研究Ⅷ	2	
	270333	小児看護学実習Ⅱ	2	270378	看護研究Ⅸ	2	270379	看護研究Ⅹ	2	
	270334	母性看護学実習Ⅰ	2	270380	看護研究Ⅺ	2	270381	看護研究Ⅻ	2	
	270335	母性看護学実習Ⅱ	2	270382	看護研究Ⅼ	2	270383	看護研究Ⅽ	2	
	270336	在宅看護学実習Ⅰ	2	270384	看護研究Ⅾ	2	270385	看護研究Ⅿ	2	
	270337	在宅看護学実習Ⅱ	2	270386	看護研究ⅰ	2	270387	看護研究ⅱ	2	
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	270101	人間関係論	2	270103	*倫理学	2	270104	*心理学	2	84
	270104	*心理学	2	270105	*体育と運動生理	2	270106	*現代の文学	2	
	270105	*体育と運動生理	2	270107	*現代の科学	2	270108	*現代の看護学	2	
	270106	*現代の文学	2	270109	*現代の看護学	2	270110	*現代の看護学	2	
	270107	*現代の科学	2	270111	看護学概論	1	270112	看護学概論	1	
	270108	*現代の看護学	2	270113	看護学概論Ⅱ	1	270114	看護学概論Ⅲ	1	
	270109	*現代の看護学	2	270115	看護学概論Ⅳ	1	270116	看護学概論Ⅴ	1	
	270110	*現代の看護学	2	270117	看護学概論Ⅵ	1	270118	看護学概論Ⅶ	1	
	270111	看護学概論	1	270119	看護学概論Ⅷ	1	270120	看護学概論Ⅷ	1	
	270112	看護学概論Ⅱ	1	270121	看護学概論Ⅸ	1	270122	看護学概論Ⅹ	1	
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	270113	看護学概論Ⅲ	1	270123	看護学概論Ⅺ	1	270124	看護学概論Ⅻ	1	97単位
	270114	看護学概論Ⅳ	1	270125	看護学概論Ⅼ	1	270126	看護学概論Ⅽ	1	
	270115	看護学概論Ⅴ	1	270127	看護学概論Ⅾ	1	270128	看護学概論Ⅿ	1	
	270116	看護学概論Ⅵ	1	270129	看護学概論ⅰ	1	270130	看護学概論ⅱ	1	
	270117	看護学概論Ⅶ	1	270131	看護学概論ⅲ	1	270132	看護学概論ⅳ	1	
	270118	看護学概論Ⅷ	1	270133	看護学概論ⅴ	1	270134	看護学概論ⅴ	1	
	270119	看護学概論Ⅸ	1	270135	看護学概論ⅵ	1	270136	看護学概論ⅵ	1	
	270120	看護学概論Ⅹ	1	270137	看護学概論ⅶ	1	270138	看護学概論ⅶ	1	
	270121	看護学概論Ⅺ	1	270139	看護学概論ⅷ	1	270140	看護学概論ⅷ	1	
	270122	看護学概論Ⅻ	1	270141	看護学概論ⅸ	1	270142	看護学概論ⅸ	1	

注意事項  
 ① 課程は、各年次に開講される履修すべき専門科目および専門基礎科目がすべて修得されて、20単位を条件とする。(履修要項:第10条(成績)第6項)  
 ② 学生は6年を履修して卒業する必要がある。ただし、休学期間は在学年級に算入しない。(学期:第9条(修業年限及び在学期間)、第16条(休学期間))  
 ③ 3年次「保健医療福祉統計概論」の履修を以って、卒業を判定する。



2019年度入学生 履修系統図 看護学科



※上記の科目以外に、所定の手続きを経て、大学コンソーシアム富山等で開講する単位互換科目等を履修することができる。

# 幼児教育学科 教育課程

## 幼児教育学科の教育

### 教育目的

子どもの保育・教育に関する専門知識、技術を修得し、音楽や図工、体育などを通して、子どもの感性を育む表現力を身につけ、さらに保護者や同じ職場の仲間から信頼される幅広い教養と使命感をもって、子どもたちの幸せをサポートできる人間愛に満ちた保育者、教育者の育成を図ることを目的とする。

### 学習教育目標

- A 知識・理解力  
知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。
- B 専門的技術  
社会貢献・自己実現に技術が活用できる。
- C 論理的思考力  
情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。
- D 問題解決力  
問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
- E 自己管理能力  
自らを律して行動できる。
- F チームワーク・リーダーシップ  
他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
- G 倫理観  
自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
- H コミュニケーション力  
言語や身体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。

### 学科・専攻学習教育目標

- A ①保育・教育の本質・目的の理解  
福祉や保育・教育の基礎的な知識を身につけるとともに、保育者として必要な役割について理解できる。
- ②保育・教育の対象の理解  
子どもの心身の発達および健康管理についての知識を身につける。
- ③保育・教育の内容・方法の理解  
乳児や障がい児も含め、様々な対象の子どもに対する保育・教育の内容・方法や計画に関する知識を身につける。
- B 保育・教育に必要な基礎技術  
音楽、造形、体育などの活動を通して子どもの感性を育むことができるよう、それらの基本的な技術を身につける。
- C 記録の技術と子どもの理解  
授業のレポートや実習報告書などを作成し、子どもの育ちの理解を深め、表現できる。
- D 指導計画を立案する力  
子どもの生活に即した保育・教育の計画を立案・実施し、自己評価することができる。
- E 自己管理能力  
自らを律して行動できる。
- F 保育者のチームワーク  
他者と信頼関係を築き、目標実現のため協力し共に育ちあうことができる。
- G 保育者の倫理観  
保育者の社会的責任を理解し、子どもの最善の利益に配慮できる。
- H 保育者として必要なコミュニケーション力  
子どもと信頼関係を築くことができる。また、保護者とコミュニケーションをとることにより家庭や地域社会を理解できる。

### 自己形成を進める行動目標10項目（幼児教育学科専攻福短マトリックス）

- ① 「私」の経験をもとに考える
- ② 状況や関係を把握して考える
- ③ もう一人の「私」を立ち上げ考える
- ④ 「私」宣言をつくる
- ⑤ 自己・他者を理解しコミュニケーションする
- ⑥ 保育・教育に関わり知識・技術を習得する
- ⑦ 他者に向けて発信する
- ⑧ 「ひと・こと・もの」に働きかける「私」になる
- ⑨ 保育・教育に関わる専門性を発揮する
- ⑩ 子どもの幸せをサポートする「私」になる

※「学習教育目標（A～H）」と「自己形成を進める行動目標（1～10）」を組み合わせることで各授業科目の到達目標を設定する。

履修科目一覧

■幼児教育学科 (2019年度 入学生)

区分	1年次										2年次										卒業要件 必要単位数
	前期					後期					前期					後期					
	コード	開講科目名	単位数	必修・必修・必修	履修制限	コード	開講科目名	単位数	必修・必修・必修	履修制限	コード	開講科目名	単位数	必修・必修・必修	履修制限	コード	開講科目名	単位数	必修・必修・必修	履修制限	
① 教育の基礎 ② 教育の理解 ③ 教育の方法 ④ 教育の技術 ⑤ 教育の表現 ⑥ 総合演習	240158	保育原理	2	◎		240181	社会的養護 I	2	◎		240112	教育心理学	2	◎		240110	新法論	2	◎		
	240109	教育原理	2	◎		240217	子育て支援	1	◎		240195	子どもの食と栄養 I	1	◎		240196	子どもの食と栄養 II	1	◎		
	240216	子ども発達福祉	2	◎		240223	子どもの健康と安全	1	◎		240224	子ども発達支援論	2	◎							
	240219	保育の心理学	2	◎		240202	子どもの理解と援助	2	◎		240118	教育相談	2	◎							
	240222	子どもの保健	2	◎		240221	子ども発達支援の心理学	2	◎		240229	保育内容(遠形表現)の指導法	1	◎		240227	保育内容(健康)の指導法	1	◎		
	240225	幼児理解	1	◎		240230	保育内容(言葉表現)の指導法	1	◎		240231	保育内容(言語表現)の指導法	1	◎		240123	保育内容(人間関係)	1	◎		
	240226	保育内容(健康)	1	◎		240171	教育課程総論	1	◎		240232	特別の支援を必要とする子どもの理解 I	1	◎		240124	保育内容(環境)	1	◎		
	240125	保育内容(言葉)	1	◎		240204	保育内容総論	1	◎		240198	乳児保育 II	2	◎		240234	社会的養護 II	1	◎		
	240228	保育内容(身体表現)の指導法	1	◎		240232	特別の支援を必要とする子どもの理解 II	1	◎		240233	特別の支援を必要とする子どもの理解 II	1	◎							
	240242	乳児保育 I	2	◎		240134	教育方法論	1	◎		240133	教育と社会	1	◎							
⑦ 人間と現代の理解 ⑧ 生涯学習力 ⑨ コミュニケーション	240235	幼児と言葉表現 I	1	◎		240236	幼児と言葉表現 II	1	◎		240237	保育内容(総合表現) I	1	◎		240238	保育内容(総合表現) II	1	◎		
	240239	幼児と造形表現 I	1	◎		240240	幼児と造形表現 II	1	◎		240241	幼児体育	1	◎		240207	臨床美術の実践 II	1	◎		
	240179	臨床美術	2	◎		240143	国語表現	2	◎		240206	臨床美術の実践 I	1	◎							
	240143	国語表現	2	◎		240145	保育実習 I-①	2	◎		240213	保育実習指導 I-③	1	◎		240182	保育実習指導 II	1	◎		
	240180	保育表現技術(言語表現)	1	◎		240212	保育実習指導 I-②	1	◎		240183	保育実習指導 III	1	◎		240147	保育実習 II	2	◎		
	240211	保育実習指導 I-①	1	◎		240145	保育実習 I-①	1	◎		240184	保育実習指導 I	2	◎		240148	保育実習 III	2	◎		
						240145	保育実習 I-②	2	◎		240184	保育実習指導 I	2	◎		240215	保育実習指導 II	2	◎		
						240145	保育実習 I-③	2	◎		240184	保育実習指導 I	2	◎		240151	保育実習 II	2	◎		
						240145	保育実習 I-④	2	◎		240184	保育実習指導 I	2	◎		240208	幼児教育演習 I	2	◎		
						240145	保育実習 I-⑤	2	◎		240184	保育実習指導 I	2	◎		240209	幼児教育演習 II	2	◎		
総合科目計																					
合計																				60	
必修																				7	
選択																				2	
合計																					9
合計																					69

(注意) ①卒業には、上記⑦の全科目29単位(専門22単位+総合7単位)を含め、■より96単位以上、★より93単位以上の単位認定が必要です。

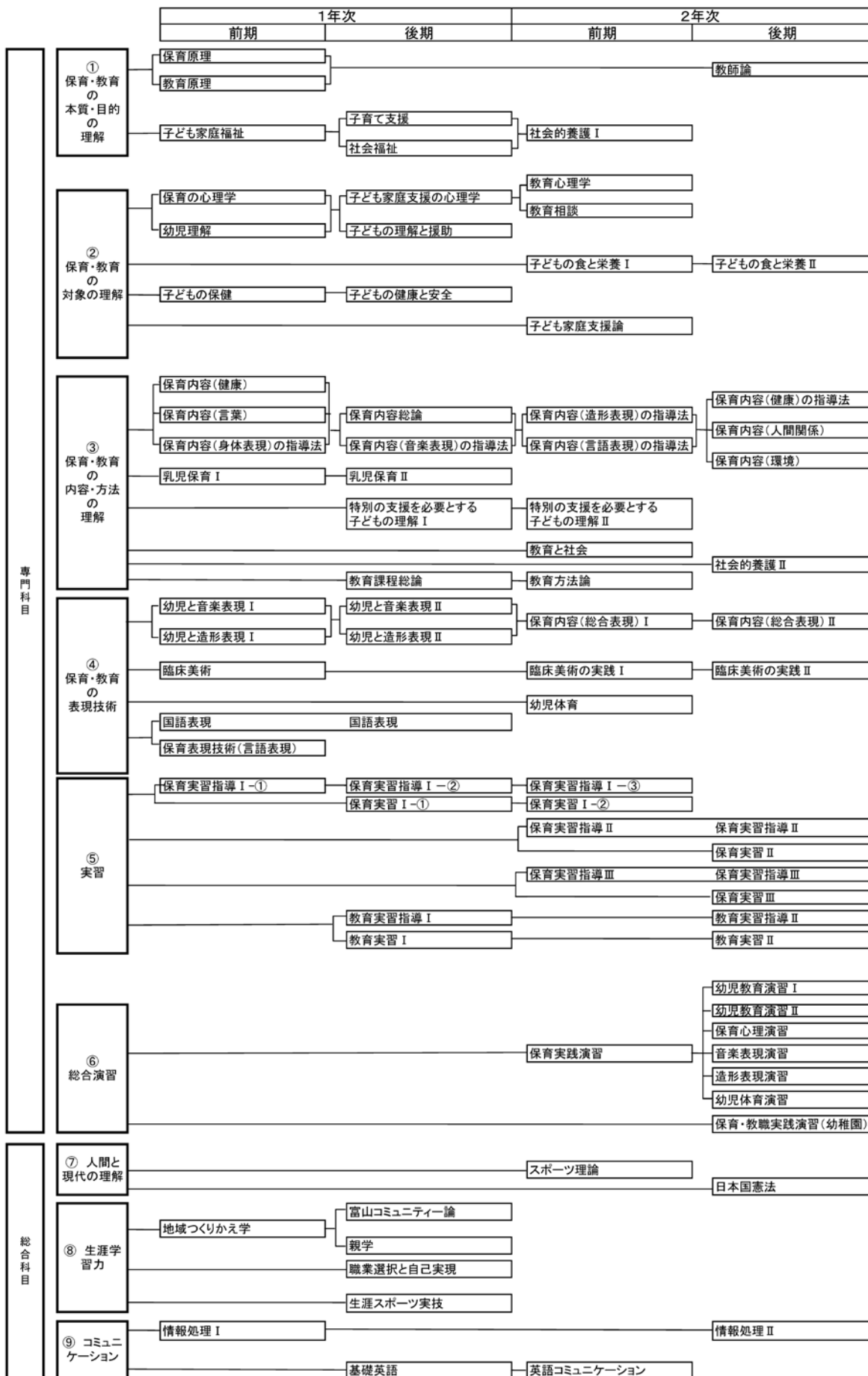
②保育士の資格を取得するためには、◎印の全科目(59単位)に加えて、●印の科目から9単位以上、○印の科目から2単位以上の単位認定が必要です。

ただし、保育実習 II (2単位)または保育実習 III (2単位)および保育実習指導 II (1単位)または保育実習指導 III (1単位)を含むこと。

③幼児園教諭二種免状の取得には、「幼児園教諭」欄の●印科目すべての単位認定が必要です。

④学生は4年を超えて在学することはできない。ただし、休学の期間は在学年数に算入しない。(学期:第3条(修業年限及び在学年限)、第16条(休学の時期))

(2019)平成31年度入学生 履修系統図 幼児教育学科



教育課程の概要

※上記の科目以外に、所定の手続きを経て、大学コンソーシアム富山等で開講する単位互換科目等を履修することができます。